

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900057		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート西船橋(1階)		
所在地	千葉県船橋市西船2-34-20		
自己評価作成日	平成23年3月10日	評価結果市町村受理日	平成23年6月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成23年4月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様が安心して生活できるよう、スタッフの誠意ある対応を心がけています。GHと小規模多機能の併設型なので、小規模のお客様とGHのお客様が交流したり、近隣の小学校の生徒の皆さんと交流するなど人と人、人と地域が触れあえる環境を作り、ハリのある生活を送って頂けるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所では、「お客様に安らぎと安全を与え続けていくための方法」をサービススローガンとして掲げ、職員間でスローガンを共有し、利用者が安心して安全に生活できるよう支援している。日々の支援においては、併設の小規模多機能事業所の利用者との交流やホーム近隣の畑を活用し、野菜の栽培や収穫など利用者の活動性を高めた支援が図られている。地域との交流に関しては、小中学校の職場体験学習の受け入れやホームの行事に小学生が来所し、利用者との交流を図るなど子どもたちとの交流を通じ利用者の生活の幅を広げている。今後においても利用者の要望に応じ行事や外出などさらに充実させていくことを検討している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ガーデンコート西船橋のサービススローガンとして掲げている「お客様に安らぎと安全を与え続けるための方法」を常に考え、安全のみではなく、安らぎを見出せるケアを目指しております。	当事業所では、「お客様に安らぎと安全を与え続けていくための方法」をサービススローガンとして掲げ、職員間でスローガンを共有し、利用者が安心して安全に生活できるよう組織的に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を定期的に行い、各方面の委員の方々のご参加をいただいております。様々な立場の方からのご意見を頂戴し、ガーデンコート西船橋の運営理念をご理解いただけるように取り組んでいます。	地域との交流では、小中学校の職場体験学習の受け入れや、地域で開催されるお祭りへの参加、ホームで開催した雛まつりの行事の際には、近隣小学生が来所するなど、小中学生との交流を通じ、地域交流の充実につなげている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状出来ておりません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内でご利用者様の総合的な現状の報告、個々のケース報告を行い、抱える問題点を提起し、構成員の皆様のご意見、ご要望をお伺いしております。	運営推進会議は、地域包括支援センター、民生委員、家族、他事業所職員が参加され、定期的に行われ、運営報告、行事活動報告のほか、質疑応答を交え、参加者との意見交換を通じ、サービス向上につながるよう取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市、地域包括センター、地区在宅介護支援センターへの働きかけを積極的に行っております。	市の担当課との連携に関しては、必要に応じて連携を図り対応している。また、管理者交代に伴い、今後あいさつ回りを通じ、協力関係が築けるよう取り組むこととしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行なってはいけない行為だということを、職員全体に啓蒙しております。前面の道路が細いわりには交通量が多く、まれに無謀な速度で通り過ぎる車もいるため、ご利用者様の安全確保のため玄関の施錠を行なうことがあります。	身体拘束をしないケアの実践に向け、事業所内にマニュアルを設置するほか、毎月のミーティングや日々の申し送りを通じ、身体拘束防止に向けた啓蒙を行っている。現状、玄関の施錠も含め、身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止(又は身体拘束)について、管理職が身体拘束、虐待の研修へ参加し、スタッフへ啓蒙しております。		

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様の生きていく上での当然の権利主張を円滑に行うため、その必要性を熟知し、活用することのできる支援を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・重要事項説明は必ず地区統括責任者、管理者、ケアマネジャーの内2名以上で行なっております。内容の詳細にいたるまでご説明し、ご理解、ご納得頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の勤務調整を行い、生活時間帯に必要な職員配置はしております。利用者様、ご家族からの要望による突発的な事項に関しては、間接要員を含め、管理職を中心に対応を図るようにしております。	事業所内外の苦情窓口に関しては、重要事項説明書に明記し、契約時家族に説明している。また、家族からの意見や要望に関しては、家族面会時に直接意見を聞き、サービス内容に反映できるよう取り組んでいる。	家族からの要望において、利用者の預かり金残高について知らせてほしいという要望も出ていることから、定期的に報告できる仕組みづくりが望まれる。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々のスタッフへの声かけを行い、ストレスの解消を行えるようにしております。また、3ヶ月に1度の定期面談を行い、疑問や悩みを解消できる機会を設けております。	職員からの意見に関しては、管理者との個人面談を定期的実施し、職員の意向を把握しているほか、日頃から職員から直接意見や要望を聞き取るなど、不安や悩みが早期に解決できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々にあった勤務調整の実施を心掛けています。(体力面、生活環境など考慮して)得意・不得意、個々の把握をおこない「やる気」を持てる業務を中心にシフトしていきます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画(年間)に基づいた研修ばかりではなく、新規採用者への座学研修、既存スタッフへの座学研修など、その段階に応じた研修を少人数にて行い、認知症介護への理解を深める機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	船橋市グループホーム協議会へ登録し、他事業所との連携を取ることのできる状況になりました。		

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限り本人からヒアリングしております。認知症の方ですので、ご家族からのヒアリングも交え聞くようにしています。失語のある方も文字盤を使うなどして対応しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回のお問い合わせの際に、ご家族様の主訴は何かを捕らえ、そこから派生する様々な事案をお聞きするようし、受け止めるようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者、ケアマネジャーを中心に、担当者会議を行い、利用者様、ご家族が必要なサービスを受けられるベストの選択を掴める様ご案内するようしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフとご利用者様とが一緒に洗濯をしたり、調理をしたり、食器洗いをしたりと普通の生活を営んでおります。介護されるということではなく、お互いに感謝の気持ちを持ち続けることのできる関係を築くよう努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的な行事のご参加を依頼し、ご利用者様や、他のご家族との触れ合いの場を設ける事によって、皆で一緒に支えていくという実感を持っていただけるよう努力しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後は曜日、常識的な範囲内で時間帯を問わず、家族、友人、知人の訪問を受入れております。	馴染みの人や場との関係継続の支援に向けて、入居前からなじみのある商店に買い物に出かけられるよう支援するほか、家族や友人の来訪の受け入れを通じ、これまでの関係性の継続が図れるよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩に皆で出かけたり、レクリエーションをしたりし、利用者様同士のコミュニケーションを図るようしております。特に散歩時には、安全を確保した上で、利用者様同士で車椅子を押していただくなどし、お互いに感謝の言葉を交わす機会を設けることができるようしております。		

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関わりを必要とされるご利用者様やご家族には、ケアマネジャーより、定期的に電話にて連絡させて頂き、近況などをお伺いしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族の希望、意向を把握し、それを第一にケアプランを作成し、マネジメントしております。	利用者の思いや意向に関しては、日常会話の中から利用者に合わせてコミュニケーションを図り把握するほか、ケアプラン作成時のアセスメントにおいて、利用者一人ひとりのニーズや課題を抽出し、ケアプランに反映し、日々の支援につなげている。	アセスメントの見直しは、状態が著しく変化した際に実施しているが、今後に向けては、見直し時期を定め、定期的にはアセスメントをとる仕組みが強化されることに期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネジャーがモニタリングシートを作成し、スタッフに情報提供することで情報共有をしています。また、アセスメントシートなどをスタッフが閲覧しやすい場所に配置し、情報の積極的な収集を促しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや、管理者の定期的な現場への訪問で、左記項目の把握をするようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、ご利用者様、提携医療、ケアマネジャー、管理者、スタッフなどの意見を取り入れ、介護計画に反映して実際のケア展開を行っております。	ケアプラン作成にあたっては、アセスメントで抽出したニーズや課題を踏まえ、現場職員が日々の支援の中で気づいた点や家族からの要望等、総合的な意見を踏まえ作成している。また、定期的にケアカンファレンスを実施し、現状に即したケアプランであるか確認している。	今後に向けては、現場職員が日々の支援の中で、ケアプランを常時確認できる仕組みを設け、ケアプランに即した支援が日々図られることに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個人日誌、業務日誌の記録をし、内容を管理者がチェックしております。スタッフが共有すべき事柄は申し送りノートに記録し、情報の共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃からご要望を連絡していただけるようお願いしており、出来る限りの要望に対応するようにしております。		

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現状は地域資源との協働といったことが出来ていません。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様の内で認知症の専門医の診療が必要な方、ご家族がご要望された方に関しては、ケアマネジャーより医療機関に連絡をすることによって、適切な支援を行なっています。	適切な医療を受けられる支援としては、協力医療機関による往診が2週間に1度実施される。また、必要時には、直ぐに連絡を取れる体制があり、利用者が必要時に必要な医療を受けられる体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内の状態を書面にし通院等で適切な看護を受けられるよう情報提供しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の主治医、各病院のソーシャルワーカー(市内及び近隣の病院)との関係を密接にとっています。ご利用者様が入院の際には、入院先の医師・病棟看護師に直接情報提供を行い、安心して過せるような支援を行なっております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	左記の通り実施しています。	重度化や終末期に向けた方針の共有に関しては、利用契約時において、ホームとして取り組みが可能な部分、また、重度化を迎えた際には医療機関と連携して対応する旨を、家族に説明し、早い段階で方針を共有し、理解が得られるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議などで情報の共有を図り、マニュアルを作成し、ファイリングしてフロア内に保管してあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練、消防訓練は年度研修計画にて予定しております。地域住民の方々への働きかけは今後の課題とさせていただきます。	災害時に備えた防災訓練は年2回実施している。訓練では、消防署の立会いの下の訓練、自主訓練等、災害時の場面を想定して実施している。地域住民への働きかけに関しても、今後積極的に行っていくこととしている。	

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	左記の通り実施しています。	利用者一人ひとりの尊重とプライバシーの確保に向け、事業所内において利用者への言葉かけに関する勉強会を開き、利用者に対し不適切な対応につながらないよう組織的に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思決定に問題のない方はもちろんのこと、何らかの障害がある場合は、理解する方法(文字盤の利用など)を活用し、自己決定の機会を設けることのできる支援を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしをホーム内でも実現できるよう、「見守り」を重視し、「待つ」ことのできるケアを方針として打ち出しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院など本人のご希望のお店がある場合は、そのお店に行く事のできるよう支援しております。また、特定のご希望のお店がない場合は、訪問理容を定期的に予約し、ご利用頂いております。また、ご自分で整容をされるかたはご自身の意志にお任せし、行為自体に障害が伴う方は、介助にて行なっております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と同じ昼食をスタッフも共に摂り、楽しい食事時間となっております。また、行事で植えた野菜を収穫し、食事に盛り込んだり、スタッフとご利用者様一緒に調理や食器洗いを行なったりしています。	食事に関する一連の作業では、利用者の体調を考慮しながら、職員と一緒に調理や後片付けなど実施できるよう支援している。また、近隣の畑で収穫した野菜をメニューに加えたり、行事食や外食の実施などを通じ、食事の楽しみにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はその都度チェックし、記録に残しチェックをするようにしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様全員にハブラシを持参してもらい、食後は必ず声掛けをして、口腔ケアを行なって頂いております。		

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	便意の意思表示ができる方に関しては、意思表示を必ずしていただくようケアをし、できない方に関しては、定期的な誘導を行なうことによって支援を行なっています。	利用者の排泄状況に関しては、「排泄表」に記録し、職員間で情報を共有している。排泄に関しては定時の声かけや誘導により、トイレで排せつできるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給(1日に1200~1500cc摂取)の目安を表示し、情報を共有し、実施しております。積極的に散歩への参加を促しております。メニュー作成時に考慮して食物繊維の積極的な摂取(野菜、果物、海藻等)ができるようなものを作成しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のチェックシートに実施結果を記入し、入浴予定者をスタッフで考えるようにしております。しかし、ご本人様の意思にそぐわない、体調が悪いなどの理由がある場合はそれに沿ったケアを行なうようにしております。	入浴に関しては利用者の要望を尊重しながら、週に2~3日入浴できるよう支援している。入浴状況は「入浴チェックシート」に記録し、バランス良く入浴できるよう支援している。入浴中は職員も介助につき、安全に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理については管理者、ケアマネジャーにて管理を行なっております。各ご利用者様の処方薬につきましては薬局からの説明書を事務所内にファイリングをして閲覧できる場所に配置しております。誤薬防止の対応は、記入帳票等を活用し完全なものとなっております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	絵が趣味だった方にぬりえをお勧めするなど、ご本人様が希望される際にはスタッフと共にレクリエーションの一環として実施しております。また、こちらから集団レクリエーションのお誘いをしたりし、ご利用者様の持てる能力を生かすことのできる環境を提供することもしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩へのご参加の声がけをし、お客様のご要望を聞き、外出する機会を増やしております。	戸外での活動についてはホーム周辺の散歩のほか、季節に応じてお花見など、利用者の要望も受け入れながら定期的に外出できるよう支援している。今後も利用者の要望を受け入れ、積極的に外出できるよう支援していくこととしている。	

グループホームガーデンコート西船橋(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自己管理することが、その人の生活の重要な部分を占めている方に関しては、計画作成担当者がご本人様の状況に鑑み、場合によってはご自身で所持いただいております。その他自己管理が難しい方に関しては、お小遣いとして当施設にてお預かりをし、ご本人様が使いたいときには自由に使っていただけるケアを行なっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望通りに、事務所内電話をご使用いただけます。手紙もご要望があればお出しいただけます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂にその季節に沿った飾り付けをしたり、ご利用者様の描いたぬりえを掲示したり、行事の写真を貼ったりし、居心地の良い空間演出をしております。	ホーム内は、バリアフリー設計であるほか、廊下やトイレ、浴室には転倒の危険のとなるものは放置せず安全性に配慮している。利用者が集うリビングには利用者が作成した作品や行事の写真を掲示し、明るく、居心地の良い空間となるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コミュニティスペースを開放しており、自由にご利用いただけるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	左記、実施しております。	居室においては、これまで使い慣れた物の持ち込みを可能とし、家具類の配置に関しても利用者や家族の要望を尊重し、居室内において落ち着いて、居心地良く過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しており、完全バリアフリーになっております。ご利用者様の安全を確保しながら、残存機能を有効利用し、自立した生活が送れるようになっております。		